

## 外部評価実施者からの意見(コメント)一覧

事業又は施策名【担当課】

S22ごみの減量化【環境課】

### 全体に対する意見・提案等

ごみ袋の値上げだけでは住民も納得できかねると私も考えているので、プラス $\alpha$ の施策を取るという対策は良いと思った。

住民にごみ分別の意識を高める方法として、ホームページやメール配信で告知するのはどうだろうか。コロナの影響で対面形の講義では集客しにくいと考える。

各家庭でごみの減量を図る、併せて、分別をしっかりとやり資源化できるものはきちんと行う、ということは、人の将来に向かって、大変大切で必要なことと思う。

よって、まずは、この大義の部分での説明をしっかりと、くどいくらいに行うべきと思う。そのために必要であれば市民の力も借りて説明またごみ搬出の点検指導を行うことも考えるとよい。

前述のこれらの部分が不十分のまま、眼前に迫っている、処理施設の延命化を始めとする処理費用の増大化等の観点からごみ袋料金体系見直しが必要、をあまり前面に出すと本来趣旨が薄れるのではないかと思う。

いずれにしても、地域の協力を得る努力も併せて行われることも一考してほしい。

ごみの減量化と環境への配慮は切り離すことができず、環境への配慮の意識がある無しに関わらず、ごみの減量化への動機付けとして、ごみ袋・粗大ごみの料金見直しは避けることはできないと思う。それをどう理解に結びつけるかが重要と思います。

アウトカムとして、事業の効果(アウトカム)について可能な限り、提示可能となるようにしていただきたいと考えます。

### 課題に対する意見・提案等

私の住む地域では人が集まりやすいスーパーでペットボトルやプラスチックトレイの回収の他、アルミ缶のみではあるが店頭で分別して住民によく利用してもらっている。新しい回収施設を作る方法も良いと思うが、スーパーの比較的多い長久手市なら不可能ではないと思った。

ごみ減量と資源化の推進の意義、意識の啓発が、市民に十分されていたとは思えない中で、処理増加費用の負担を、料金値上げで市民に負担させ、これで意識啓発を図ろうとすることにはやや短絡さを感じる。

回収箇所を増やす等の施策も有効とは思う、もっと市民の協力も得つつ、ごみ減量問題は、時間をかけて、着実に進めていく必要があると感じている。

公・民の長年の努力により、リサイクルとして生まれ変わる流れもできてきた(例えば食糧残渣が飼料になる)。一方で、結果リサイクルが困難になって産廃へと逆戻りするものもある(収集業者によって違いがあると思うが)。根本的に、自然に帰る原材料の使用推進が長期的にはごみの減量につながるのではないか。

環境配慮意識の向上方法について、研究を行っている研究者の方も近隣の大学に在籍されています。研究者の方に協力を求め、ごみ減量の実現できるようアウトカム指標を作成をして、取り組んでいただきたく思います。